

研究技術内容

【主なテーマ】

- ・「焦げ臭」をターゲットとした新しい火災感知器の開発
- ・ニオイの差による製品の品質管理
- ・機械による人と同様のニオイ判別方法の開発

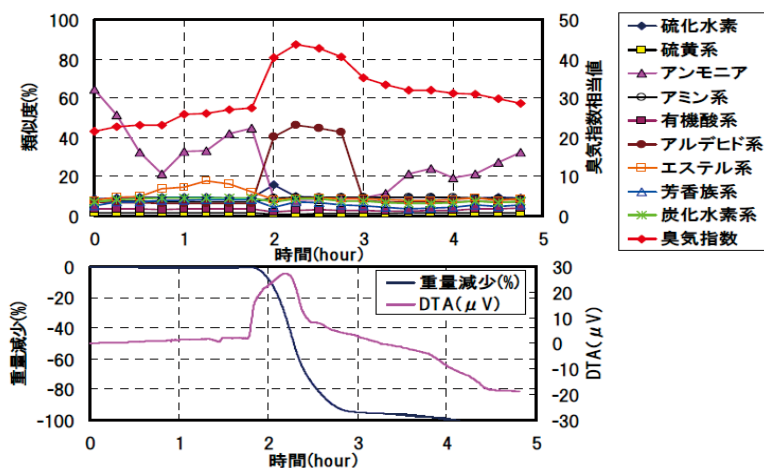
技術要点説明



におい識別装置外観図
(島津製作所製 FF-2A)



熱分析装置からのガス採取の様子
(リガク製 TG8120)



得られた結果の一例

(プラスチック材料の酸化熱分解反応時のにおい変化)

(酸化)熱分解時に発生するニオイを採取し、材料によるニオイの違いや、熱分解が大きく進展する際のニオイの変化を明らかにして頂くことができます。

産業への活用方向

悪臭防止法にも定められているように、敷地から排出されるニオイに規制がかかっています。排出されるニオイを計測器で測定し、評価することができます。

関係する大学・企業等

横浜国立大学

研究室概要

研究分野	社会・安全システム
主研究テーマ	環境安全、火災安全、品質管理
主要キーワード	ニオイの訂正分析、定量分析、材料試験
研究室HP	

特記事項

①特許取得・各種認証等取得状況(予定含む)

②シーズの熟度(基礎研究 技術開発 実証開発 実用化開発段階等)

木材やプラスチックが酸化熱分解時に発生するニオイを測定を行い、新しいニオイ感知ができる可能性が高い事を実験的に明らかにしてきています。